

社会福祉法人 三心会 織笠保育園 保育防災



○園の概要

- ・昭和 61 年竣工
- ・平成 25 年園舎改収工事
- ・平屋建て鉄筋コンクリート造り

○危険要因（ハザード）は主に以下の4つ

- ✓水害 平成 23 年度 3 月 東日本大震災 津波
- ✓地震 平成 23 年度 3 月 東日本大震災 津波
- ✓台風 令和元年 10 月
- ✓土砂災害 裏山が対象



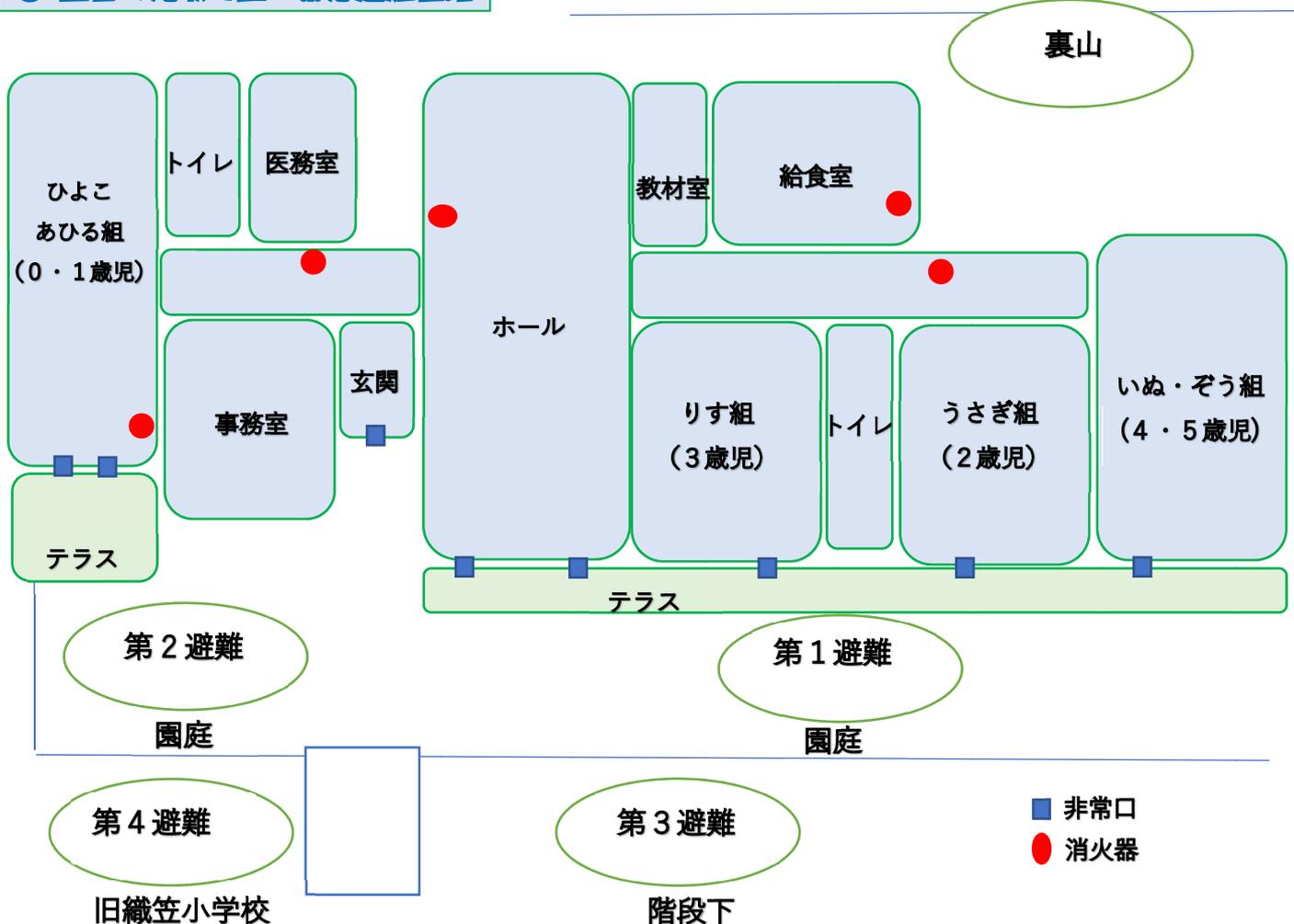
CHECK!

織笠保育園災害時対応マニュアルは各ご家庭に配布しております。
 すぐに確認できる場所に保管して下さるようお願いします。

○防災訓練



① 園舎の見取り図・緊急避難経路



②避難訓練計画

月	訓練の種別想定	避難場所
4月	火災（発火点：ひよこ・あひる組）	第1避難場所
5月	土砂災害（大雨による裏山の崩れ）	第1避難場所
6月	地震・火災・通報・初期消火（発火点：ホール）	第2避難場所
7月	火災・初期消火（発火点：いぬ・ぞう組）	第2避難場所
8月	地震・火災（発火点：うさぎ組）震度強	第3避難場所
9月	火災・初期消火（発火点：りす組）	第2避難場所
10月	火災・初期消火・通報（発火点：給食室） 【山田消防署立ち合い】	第2避難場所
11月	地震・津波【地域連携訓練】	第4避難場所
12月	地震（震度弱）	各クラス安全スポット
1月	不審者対応【警察立ち合い】	状況に応じた安全な場所
2月	火災・初期消火（発火点：事務室）	第2避難場所
3月	未定（予告なし）	未定（想定にあった場所）

③避難訓練のようす



4月

合図や避難の仕方、
防災頭巾のかぶり方など
を知り、練習します。



消防署の方々の
お話を聞き、職員は
消火訓練も実施します。



10月(火災)
山田消防署立ち会い
避難訓練



11月(地震・津波)
地域連携避難訓練

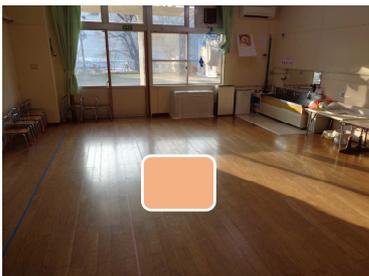


旧織笠小学校への
避難を地域の方々に
お手伝いしていただきます。



④各クラスの取り組み

- ☆各クラスでは、『安全スポット』（電気の下、窓ガラスの近くなどの危険を避けた集合場所）を設定しております。災害時、その場所に集合するようにしています。
- ☆防災頭巾は常に取り出しやすい場所に置き、自分でかぶることができるよう練習しています。
- ☆各クラスにある避難リュックの点検を定期的に行い、災害に備えています。
- ☆月に1度、さまざまな災害の避難訓練をするなかで、子ども達と振り返りを行い、応じた避難の仕方を知り、自分の身は自分で守るということ、命が最優先であることを伝えています。
- ☆『AED』の設置は、園周辺だと織笠ローソン・山田消防署、山田中学校です。
- ☆消防署立ち会い避難訓練、地域連携避難訓練、降園時避難訓練、不審者訓練など訓練を通し、園・家庭・地域、機関と連携して災害に備えていくことができることを目指しています。



セーフティゾーン（安全スポット）



防災頭巾を自分で被る練習



身を守るためのダンゴムシ練習

○備蓄・災害用品

- ・備蓄品をリストアップし、定期的を確認しております。
- ・備蓄品は、最低3日分、すべてアレルギーに対応しております。
- ・災害時を想定し、災害食をおやつとして子ども達やご家庭に提供しております。



○災害時緊急連絡について

緊急時対応連絡先：080-8201-9887



緊急連絡は、マチコミメールアプリにて全世界帯へ一斉送信させていただきます。

※なお、アンケートにて保護者の皆様が心配されていたように災害時は携帯等、連絡が不可能になることが予想されます。玄関に避難場所の張り紙等検討しておりますが、命を守ることを最優先に対応していきたいと思っております。

子ども達が安心して過ごし、一人ひとりが身を守る術を身につけていくことができるよう、これからも目に見える形で、保護者の皆さまにより良い防災対策を発信していきたいと思っております。不安や心配な点、気づいた点があれば教えてくださいとありがとうございます。

みんなで協力し合い、一人残らず命を守る地域を目指していきましょう